

【目指す姿】

市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

基本施策・施策区分体系図

3-01 協働による地域づくり

3-01-01 市民活動

3-01-02 町内会

3-01-03 コミュニティセンター

3-01-04 男女共同参画

3-02 健康の増進と地域医療の充実

3-02-01 健康・保健予防

3-02-02 高齢者

3-02-03 地域医療

3-02-04 地域センター病院

3-03 地域包括ケアシステムの充実

3-03-01 地域包括ケアシステム

3-04 地域福祉の充実

3-04-01 地域福祉

3-04-02 障がい者福祉

3-05 社会保障の充実

3-05-01 国民健康保険

3-05-02 後期高齢者医療

3-05-03 介護保険

3-05-04 医療費助成

3-05-05 生活保護・自立支援

3-01 協働による地域づくり

- | | |
|------------|---|
| 視 点 | <ul style="list-style-type: none"> ●思いやりとぬくもりの地域コミュニティを再生すること ●市民活動、市民参加、ボランティア活動が活発になること |
|------------|---|

3-01-01 市民活動

5年後の目指す姿

- 市民活動やボランティアが市民全体に浸透・定着し、市民活動団体等は安定した団体の運営がなされ、主体性を持ってまちづくりに取り組み、互いに協力・連携しながら活動を進めています。

現 状 と 課 題

- 市民活動団体の中でも、積極的に活動している団体とそうでない団体があります。
- まちづくり活動を行う団体の取り組みが市民にあまり知られていないため、取り組みを効果的に周知するなど、市民活動等が積極的に推進されるような環境づくりに向けた支援が必要になっていきます。

前 期 の 方 向 性

- NPO法人や市民活動団体との連携を深め、団体の立ち上げや活動支援に対するニーズを把握し、市民活動団体が主体的にまちづくりに取り組むための活動支援の制度を整備していきます。
- 団体やボランティア活動の取り組みの周知などにより参加意識の向上が図られるよう、行政としての支援をしていきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
市民活動振興助成金申請件数 (件)	2	3以上	3以上	3以上	3以上	3以上

3-01-02 町内会

5年後の目指す姿

- 地域コミュニティが自治の担い手として機能し、互いに協力しあいながら、地域の課題を地域力で解決しています。

現 状 と 課 題

- 町内会役員の高齢化や、なり手が不足しています。
- 町内会加入率がなかなか向上せず、特にアパート等での未加入が見受けられます。

前 期 の 方 向 性

- 町内会と行政が役割を明確にして、協働のもと地域活動が推進されるような支援に努めていきます。
- 健康でいきいきと暮らし続けられるよう、地域老人クラブの活動支援を継続していきます。
- 町内会加入率が向上し、組織基盤が安定するよう、町内会と行政が連携し、町内会の必要性や役割について理解してもらえよう努めていきます。
- 町内会が抱えている問題や課題に、町内会と一体となって、その解決に向け、迅速に対応していきます。

3-01 協働による地域づくり

数 値 目 標		※現状：H27					
指 標 項 目		現状	H29	H30	H31	H32	H33
町内会加入率	(%)	78.5	79.1	79.3	79.5	79.8	80.0

3-01-03 コミュニティセンター

5年後の目指す姿

- 地域住民の拠点施設として、コミュニティ活動や世代間交流も活発になっています。

現 状 と 課 題

- 施設の利用率が伸び悩んでいます。
- 施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修等が必要となっています。

前 期 の 方 向 性

- 利用率の向上等により収入が確保され、コミュニティセンターの運営が安定するよう、施設の利用形態に応じた運営の検討を進めていきます。
- 各運営協議会との連携を密にし、施設のニーズ・維持修繕等に対し、必要に応じて整備していきます。

数 値 目 標		※現状：H27					
指 標 項 目		現状	H29	H30	H31	H32	H33
市民一人当たりのコミュニティセンター年間延利用回数	(回)	1.14	1.18	1.19	1.21	1.23	1.24

3-01-04 男女共同参画

5年後の目指す姿

- 人権が尊重され、性別に関わりなく、ともに個性と能力が発揮できる環境が整っています。

現 状 と 課 題

- 女性の就労については雇用状況が厳しく、希望の職種につきにくいという現状があり、女性活躍推進法の施行などを踏まえた民間企業などへの啓発活動の推進が課題となっています。

前 期 の 方 向 性

- 留萌市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画の実現に向けた意識の変革、家庭・職場・地域社会における男女共同参画の促進、多様なライフスタイルを可能とする環境づくりに努めていきます。

数 値 目 標		※現状：H27					
指 標 項 目		現状	H29	H30	H31	H32	H33
委員会・付属機関参加者の女性構成比率	(%)	32.6	38.4	41.3	44.2	47.1	50.0

3-02 健康の増進と地域医療の充実

視 点

- 市民の健康を維持し、元気な市民がたくさんいるまちにすること
- 市民が安心して暮らせる医療環境を提供すること
- 高齢者がいきがいを持ち、安心して暮らせること

3-02-01 健康・保健予防

5年後の目指す姿

- 健康都市宣言の趣旨に基づく様々な施策展開により、市民の健康意識が高まり、予防や健康づくりに積極的に取り組む市民が増えています。
- 地域の健康課題の克服と科学的根拠に基づいた新しい予防対策を提案しています。

現 状 と 課 題

- 地域の健康課題の把握と解決方策の検証が十分ではなく、地域特性に応じた調査、研究が必要となっています。
- コホート研究で得られた調査研究データが市民の健康づくり活動に十分に生かされていない部分があり、地域の特性に応じた新しい予防対策を提案するなど、市民自らが健康づくりに取り組む環境整備を図っていく必要があります。
- 各種事業について、住民への周知・啓発が十分でない部分があり、健康いきいきサポーターなどと一緒に市民自らが健康づくりに取り組む環境整備を図っていく必要があります。

前 期 の 方 向 性

- 地域の健康課題解決の一助となる新しい健康サービス(産業)を創出し、地域ぐるみで環境づくりを進めていきます。
- はとふる、健康の駅がそれぞれの役割と機能を十分に生かしながら、市民の健康を守るために緊密な連携を図っていきます。
- 地域の「健康いきいきサポーター」との連携をより深め、市民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、自らが健康づくりに取り組んでいくための環境整備を図っていきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
健康をキーワードとした企業連携研究に参加する市民の割合 (%)	100	100	100	100	100	100
がん検診受診者数 (人) ※がん：胃・肺・大腸・乳・子宮	3,164	3,195	3,195	3,226	3,226	3,258
乳幼児健診受診率 (%)	98	100	100	100	100	100

3-02-02 高 齢 者

5年後の目指す姿

- 高齢者自身が経験や知識を活かし社会参加するなど、健康で明るく、住み慣れた地域でいきいきと生活を送っています。

3-02 健康の増進と地域医療の充実

現 状 と 課 題

- 高齢者人口の増加に伴い、要介護状態、一人暮らし、身寄りが無い、認知症者などが増加しており、介護予防や認知症対策、見守りなどのサポート体制が必要となっています。
- いきがいを持って元気に暮らしている高齢者が増えています。
- 高齢者一人ひとりにあった就労やボランティア活動、高齢者の豊かな経験・知識を活かした社会活動への参加を促進する必要があります。

前 期 の 方 向 性

- 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムを充実していきます。
- 高齢者が生涯にわたり健康で充実した生活を送れるよう、いきがいづくりと社会参加を推進していきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
介護予防事業延参加率 (%)	38	維持～増加	維持～増加	維持～増加	維持～増加	維持～増加

3-02-03 地域医療

5 年 後 の 目 指 す 姿

- 救急、小児、周産期の医療提供体制が整い、市民がいつでも適切な医療を受けることができ、安心感が高まっています。

現 状 と 課 題

- いずれの医療機関においても、医療スタッフの確保が最重要課題となっており、市民がいつでも適切な医療を受けられるようにするためには、医師、看護師を含む医療スタッフの安定的確保が不可欠となっています。

前 期 の 方 向 性

- 道内体育大学と連携しながら留萌地域に医療人育成のフィールドを構築することで、地域医療を十分理解した医師、看護師を含む医療スタッフの安定的な確保、維持に取り組んでいきます。
- 医師が行う事務的業務の負担を軽減し、医師が診療業務に専念できる環境づくりを推進することで、地域医療の充実と安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでいきます。
- 「留萌区域地域医療構想」の方向性を踏まえ、住民・患者の視点に立ち、関係機関との連携のもとに、地域の最も重要な社会基盤の一つである医療提供体制の確保に努めていきます。
- 看護師等修学資金貸付金制度により、医療スタッフの確保に取り組んでいきます。
- へき地患者移送事業により、公共交通の不便な地域から市街地の医療機関へ通院する患者の移送を行っていきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
看護師等修学資金貸付金利用者数 (人)	7	10	10	10	10	10

3-02 健康の増進と地域医療の充実

3-02-04 地域センター病院

5年後の目指す姿

- 医療スタッフ、設備、予算が確保され、医療圏の将来医療需要と地域のニーズを踏まえた医療が提供されています。

現状と課題

- 常勤医師の減少に歯止めがかからない状況です。
(H20当初：24人→H23当初：34人→H26当初：28人→H28.5：19人)
- 10対1看護を維持するための看護師の確保・定着が必要です。
- 病院建設から約15年が経過し、施設や医療機器の計画的な修繕や更新が必要となってきました。
- 今後は地域で医療・介護を完結していくことが求められており、医療資源の現状や医療を取り巻く環境と、急性期・高度医療を期待する住民ニーズとのギャップの解消が課題となっています。

前期の方向性

- 今後策定される道の地域医療構想を踏まえた「新・留萌市立病院改革プラン(仮称)」を策定する中で、高度な医療の提供のみならず、総合診療医の養成をはじめとする地域包括ケアシステム構築への関わりなど、自治体病院として果たすべき役割を明確化し、必要な医療資源の確保を図っていきます。
- 自治体病院として、救急、小児、周産期医療を守り続けていきます。
- 将来の医師確保の取り組みとして、病院の認知度を上げるための医学生向けの実習環境を提供していきます。
- 道内医育大学と連携しながら、地域医療を十分に理解した医師、看護師を含む医療スタッフを育成するフィールドを提供していきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
市立病院利用(外来)における患者満足度 (%)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
分娩件数 (件)	138	144	144	144	144	144
医学生実習の受け入れ件数 (件)	21	26	26	26	26	26

3-03 地域包括ケアシステムの充実

視 点 ●要支援、要介護状態となっても自分らしく暮らせること

3-03-01 地域包括ケアシステム

5年後の目指す姿

- 高齢者が要支援、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されています。
- 地域包括支援センターの取り組みに対する理解度が高まっています。

現 状 と 課 題

- 高齢者人口の増加に伴い、要介護状態、一人暮らし、身寄りがない、認知症者などが増加しており、介護予防や認知症対策、見守りなどのサポート体制が必要となっています。
- 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの充実が必要となっています。

前 期 の 方 向 性

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に、医療と介護を一体的に提供するために、在宅医療と介護の連携を推進していきます。
- 認知症になっても地域で安心して暮らし続けられるよう認知症施策を推進していきます。
- 医療、介護のサービス提供だけでなく、NPO法人やボランティア、民間企業等の地域の多様な生活支援サービスの体制づくりを推進していきます。
- 保健、医療、福祉等の関係機関の連携に向けた取り組みなど、地域包括支援センターの役割が大きくなることから、センター機能を充実していきます。
- 地域包括支援センターの取り組みが広く理解されるよう、周知していきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
認知症サポーター養成講座受講人数 (人)	602	132	132	132	132	132
(下段累計)	3,146	3,414	3,546	3,678	3,810	3,942

3-04 地域福祉の充実

視 点 ●みんなが支え合い安心して暮らせる「やさしいまち」をつくること

3-04-01 地域福祉

5年後の目指す姿

- 身近な日々の暮らしの場である地域社会で、多様な生活課題に地域全体により取り組む仕組みが
つくられています。
- 地域福祉に関する活動への住民参加が促進されています。

現 状 と 課 題

- 超少子高齢社会や核家族化、ライフスタイルや価値観の多様化等、市民生活を取り巻く環境が大
きく変化し、地域のつながりの希薄化が進む中で、地域の中で暮らす人の孤立化が一層進むこと
が懸念されています。
- 市民が自分の住む地域において、住民とのつながりを持ち、高齢者との連携を保ちながら地域で
活動できる環境づくりが必要となっています。

前 期 の 方 向 性

- 地域福祉についての全市的な意識啓発に取り組んでいきます。
- 民生児童委員の機能と役割を尊重し、活動を支援していきます。
- 地域における障がい者や高齢者、支援を必要としている人が暮らしやすい環境づくりを進めてい
きます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
ボランティアセンター登録団体数 (団体)	14	15	16	17	18	19

3-04-02 障がい者福祉

5年後の目指す姿

- 障がい者が自立して生活できる環境にするため、市民の障がい者に対する理解を深め、差別や偏
見のない社会が構築されています。

現 状 と 課 題

- 身体の障がいや知的障がいに加え、社会や生活環境の多様化から精神障がいが増加傾向にありま
す。また、発達障がいのある方も障がい者として位置づけられましたが、職場など社会的受け入
れの体制が整っていないのが現状です。
- 障がい者が自立するための相談や支援体制が整ってきていますが、専門的な知識を持った人材の
確保などが求められています。

3-04 地域福祉の充実

前期の方向性

- 障害者差別解消法の制定を受け、障がい者が安心して社会で活躍し、地域で暮らせる環境整備を進めていきます。
- 障がい者に対する支援やサービスなどの情報を提供し、相談しやすい場の充実を推進していきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
福祉施設から一般就労への移行者数 (人)	0	0	2	2	2	2
就労移行支援事業所利用者数 (人)	2	2	2	2	2	2

3-05 社会保障の充実

視 点	<ul style="list-style-type: none"> ●医療費適正化による持続可能な国民健康保険を安定的に運営すること ●後期高齢者医療制度を安定的に運営すること ●市民の健康増進と経済的負担の支援をすること ●万一の場合でも、市民が安心して生活できること
------------	--

3-05-01 国民健康保険

5年後の目指す姿

- 市民の健康意識が高まり、毎年、自らの健康状態を確認するため、特定健康診査を受診しています。
- 特定健康診査の結果を踏まえ、保健事業などを活用しながら適切な運動と食生活を心がけて生活しています。
- 疾病の予防や重症化防止により、医療費の適正化が進み、持続可能な国民健康保険が運営されています。

現 状 と 課 題

- 特定健康診査の受診率が伸び悩んでいます。
- 医療費としては減少傾向にあるものの、一人当たりの医療費は依然として高い状況が続いています。
- 保健事業の実施にあたり、保健師等専門職の体制整備が課題となっています。

前 期 の 方 向 性

- 関係機関との連携により、特定健康診査の受診率等の向上を図るとともに、保健師等専門職の体制を拡充していきます。
- 適確な医療費分析に基づき、地域の健康課題に対応した保健事業を推進し、医療費の適正化を進め、持続可能な国民健康保険の安定的運営を図っていきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
国民健康保険被保険者一人当たりの年間医療費 (千円)	464	457	450	443	436	429
特定健康診査の受診率 (%)	31.5	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
特定健康診査における 40～75 歳の生活習慣病リスク保有率 (%)	38.5	37.8	37.1	36.4	35.7	35.0

3-05-02 後期高齢者医療

5年後の目指す姿

- 健康でいきいきと暮らす高齢者が増え、後期高齢者医療制度が安定的に運営されています。

現 状 と 課 題

- 超高齢社会が進み医療費が増大する中で、持続可能な医療制度とするため、加入者による保険料の適正な一部負担と、公費負担による安定した財政の維持が課題となっています。

3-05 社会保障の充実

前期の方向性

- 後期高齢者医療制度の安定的運営のために、健康診査受診率の向上を図るとともに、ジェネリック医薬品の普及促進に努めていきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
後期高齢者医療制度被保険者一人当たりの年間医療費 (千円)	1,119	1,082	1,064	1,046	1,029	1,012

3-05-03 介護保険

5年後の目指す姿

- 介護サービスを必要としている方に、わかりやすい情報を提供しています。
- 利用者にとって必要なサービスを受けていただき、安心して生活できる環境になっています。

現状と課題

- 介護サービスの範囲が広範囲にわたっているため、必要とするサービス内容の把握が困難な状況になっています。

前期の方向性

- 住み慣れた地域で、その高齢者の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムを充実していきます。
- 介護サービスが、利用者にとってわかりやすく身近なものとなるよう、情報の提供に努めていきます。
- 介護保険事業の安定的な運営に向け、介護給付費の適正化を推進していきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
要介護(支援)認定者率 (%)	17.1	16.9	16.7	16.5	16.3	16.1

3-05-04 医療費助成

5年後の目指す姿

- 市民の健康増進と経済的負担を支援し、障がい者が元気に暮らせ、ひとり親家庭を含む子育て世帯が子育てのしやすい、子どもたちが元気にすくすくと育つまちになっています。

現状と課題

- 市町村間における助成制度の内容に、格差が生じています。
- 助成受給者の負担の軽減と利便性の向上が図られるような環境整備の検討が必要となっています。

3-05 社会保障の充実

前期の方向性

- 北海道医療給付事業に基づく適切な事業運営に努めながら、受給者の負担の軽減と利便性の向上について、検討を進めていきます。
- 関係団体と連携を図りながら、市町村間における助成制度の格差是正に向けて、国による助成制度の整備を要望していきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
重度心身障害者一人当たりの助成件数 (件)	18	18以上	18以上	18以上	18以上	18以上
ひとり親家庭等一人当たりの助成件数 (件)	5	5以上	5以上	5以上	5以上	5以上
乳幼児等一人当たりの助成件数 (件)	13	13以上	13以上	13以上	13以上	13以上

3-05-05 生活保護・自立支援

5年後の目指す姿

- 健康で文化的な最低限の生活は確保され、就労可能な受給者は支援により自立に向かっていきます。
- 生活保護に至る前に生活困窮者の自立を支援する体制が整えられています。

現状と課題

- 保護申請は、周囲からの援助を受けられない高齢者世帯の割合が多く、また、地域経済の低迷により、働きたくても働く場所が見つけれない受給者が多くいます。
- 非正規労働者や低所得者が増加傾向にあり、生活困窮や生活保護に至るリスクの高い世帯の自立支援が必要になっていますが、自立相談支援機関において支援員など専門職の配置を充足する必要があります。

前期の方向性

- 保護を必要とする方に確実に保護を行うため、制度の周知を図っていきます。
- 受給者それぞれの課題に対応した支援を行っていき、就労可能な受給者には、就労支援員による積極的な支援により、自立を促していきます。
- 生活困窮者自立相談支援の充実を進め、生活困窮や生活保護に至る前に低所得者が自立して生活できるよう支援体制を整えていきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
収入増加により生活保護から自立した世帯の割合 (%)	3.20	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80